

令和5年度 第1回中野市男女共同参画審議会会議録

日時：令和5年7月6日(木) 午後2時～2時45分

場所：中野市人権センター 会議室1

出席者：委員（敬称略） 大塚秀樹、竹内幸夫、宮本博、阿部ひろ美、浜中道子
関ふじ子、坂本由子、伝田和子、関きよ子（計9名）

事務局 くらしと文化部長、
人権・男女共同参画課長
男女共同参画係長 （計3名）

欠席者：委員（敬称略） 角本弥生 （計1名）

- 1 開 会 人権・男女共同参画課長
- 2 あいさつ くらしと文化部長
- 3 会長・副会長選出 会長 関きよ子 副会長 阿部ひろ美
自己紹介 委員(名簿順)、事務局の順

4 会議事項（進行：会長 関委員）

（1）第4次中野市男女共同参画計画について

（説明：男女共同参画係長）

- ・第4次計画の新規事業について事業内容を説明
- ・令和8年度までの目標値について説明

会長

ただ今の説明に対して質問、ご意見ございますか。

<質問、意見なし>

会長

なければ次に進みたいと思います。

2、男女共同参画社会の形成に関する令和4年度事業実績及び令和5年度事業画について事務局から説明をお願いします。

（2）男女共同参画社会の形成に関する令和4年度事業実績及び令和5年度事業計画について

（説明：男女共同参画係長）

- ・4月に全庁を対象に調査し報告を受けたものを取りまとめた。
関係各課において事業を進めている。課題や改善点もあるが解決に向けて事業を実施していると考えている。

会長

説明に対して質問、ご意見ございますか。

<質問、意見なし>

会長

続きまして、3、令和4年度男女共同参画推進事業実施状況について、事務局から説明をお願いします。

(3) 令和4年度男女共同参画推進事業実施状況について

(説明：男女共同参画係長)

- ・女性に対する暴力をなくす運動の啓発、女性の公職参画状況、区における男女共同参画意識調査結果、出前講座、男女共同参画セミナーについて説明

会長

説明に対して質問、ご意見ございますか。

委員

男女共同参画セミナーの第4回に実施した「フィンランドはなぜ午後4時に仕事が終わるのか」の講演会は、自分も行きたかったが用事があり行けなかった。「ライフワークバランス」は、男女共同参画推進に合致した良いテーマだと思う。こういう内容のセミナーを増やしてほしい。

出前講座は、あることも知らなかった、これは申し込みによるものなのか。

事務局

各区や団体に案内を出して、申し込みのあった区や団体に出向いて実施している。

委員

出前講座、昨年自分の区で自主防災会を立ち上げたので、協議員の学習会で自主防災について市の方に来てもらって話をしてもらった。いくつかメニューがあって選べるようになっていた。男女共同参画推進出前講座もそのひとつか。

事務局

まなび一塾のことをおっしゃられていると思う。同じと考えてもらっていい。

委員

区のニーズに合わせて無料で市の実情をきけることは大変ありがたい。

要望を言えば、メニューだけだと内容がわかりづらい部分もあるので、そこに受講者の声として「こんなことが勉強になりました」とかが書かれていると、メニューを選ぶ時の参考になると思った。

事務局：貴重なご意見ありがとうございます。ぜひ取り入れていきたい。

会長：続きまして、4、令和5年度事業計画について事務局から説明をお願いします。

(4) 令和4年度事業計画について

(説明：男女共同参画係長)

- ・資料5ページのとおり

会長

ただ今の説明に対し、質問、ご意見ございますか。

委員

今年のジェンダーギャップ指数が、日本は146か国中125位だった。

下位の方で男女格差が本当に大きい。このような状況の中で、男女共同参画はすぐに必要な取り組みだと思う。フィンランドやアイスランドは確か上位だった。去年の堀内さんのように、滞在経験、留学経験があってその方面のお話ができるような方を講師にしたセミナーの開催をお願いしたい。

女性団体の支援とは、具体的にどんなことか。

構成メンバーの、ふるさと虹の会、中野友の会、信州中野ママがどんな団体なのか教えていただきたい。

会長

中野友の会は、羽仁もと子さんが創刊された「婦人乃友」の愛読者の会です。

委員

ふるさと虹の会は、豊田村時代に女性議員を輩出しようとして有志が集まって立ち上げたのが始まりです。当時立ち上げたメンバーは今や80代後半。会長は子ども食堂をやっている。年に1回勉強会をやっている。

事務局

「信州中野ママ」は、小さなお子さんをお持ちのお母さん方が集まって、イベントの開催や、インスタグラムで情報交換などして活動している団体です。

セミナーについては、今後も男女共同参画の推進に結び付くような内容で企画していきたい。

市民団体の支援の内容については、国から送られてくる冊子を情報提供という形で毎月虹の会さんへお送りしている。予算を使って支援しているということはない。

委員

男女共同参画推進出前講座の開催方法は、男女共同参画のお話をして、その後に認知症とか体操教室をやるという感じか

事務局

今おっしゃったとおりで、男女共同参画のお話を10分～15分くらいした後に、認知症とか特殊詐欺、体操教室といった講座を行い全体で1時間から1時間半くらいで実施している。

委員

男女共同参画セミナーの要望としてお願いします。

冊子の18ページのアンケート結果を見ると、「子育て・介護は、男女が協力してやるべき」の項目で、そう思うと答えているのが、男性が48.7%に対し女性が72%と圧倒的に女性が多い。自分の周りにも、男性の親の介護を、男性の妻が中心に介護をしているというのを聞く。子育ては、「イクメン」という言葉もあるように、お父さんも活躍するようになってきてはいるけど、それでもまだまだ女性の負担が大きくて、仕事をどんどんやっていくという時に、なかなか両立しにくいという状況がある。自分の時代もそうだったけど、40年経ってもまだ同じ状況が続いており、変わっていないと自分の子どもを見て思う。

子育て、介護について、男女が協力して、男性がより関わっていけるようにするにはどうしたらいいかということを考えられるようなセミナーを望みます。

事務局

ありがとうございます。

男性の育児・介護参加を増やせるようなセミナーを考えていきたいと思います。

委員

介護の問題がありますが、嫁さんが介護するとか、どっちが介護するとかそれ以前の問題として近所や知り合いを見ると独身男性がすごく多い。

そうすると、いよいよ介護が必要になった時に、会社を辞めた人もいる。

介護疲れで殺人に発展するというニュースもある。

独身者が多くなってきて、将来に不安を感じている。

まだ、お嫁さんがいてどっちが看る看ないならいいが、もうどうにもならなくなるのが見えてきている。

独身男性でも家事ができるようになっていないと、この先きついのではないかと感じている。

会長

ありがとうございます。ほかにありますか。全体を通してでも結構です。

委員

初めてこの会に参加して、課題はあるだろうけども、令和4年度の事業の中身を見ると市でも力を入れてやっていただいてありがたいと感じた。

今日は教育分野から来ているので、学校の視点からこの問題を見たときに、小中学

校でも意識づくりが大切と思った。

長く教員をやっているが、昔はやはり「男だから、女だから」という子ども同士の対立があったが、今ほとんどそういうのがない。子どもたちの意識の中では、男女平等と感じている子は多いと思う。しかし、学校はそうであっても、家に帰った時にどうか。色々な家庭があって、先ほどの介護の話。お父さんはお仕事を精一杯で、お母さんはうちでひたすら介護に時間を取られているとか、共働きの家庭でお母さんは夕飯づくりをされていて、お父さんはそれを手伝わないという、せっかく学校でそういった意識が育ってきても、一番身近なところで、現実はこうなのかとなってしまう。

区の役員もほとんど男性だけであり、家庭や地域の部分にしっかり焦点を当てて耕していくことが大事だと感じました。

もうひとつ。先ほどLGBTQのお話がありました。子どもたちが正しく理解をしていくということが大事と感じている。学校では先日の前期人権月間の校長講話でLGBTQの話を取り上げて話した。そんな風に各学校でも工夫をしているが、これからは背負っていく子どもたちの意識づくりを大切にしていくとともに、地域や暮らしをしっかりと変えていかなければ、せっかくの子どもたちが「現実は…」というところになってしまっては、勿体ないかなということを感じています。

会長

貴重なご意見ありがとうございました。他にありますか。

では以上で会議事項を終わります。ご協力ありがとうございました。

6 その他

<事務局から>

- ・委員報酬の振込みについて説明
- ・男女共同参画セミナー参加とチラシの配布のお願い

7 閉 会 副会長：阿部委員

(午後2時45分)